

2022年度 総会・表彰式並びに第1回研究会を開催 5月21日(土)



総会・表彰式は、今年は関西大学校友・父母会館2階会議室において開催し、50名の方にご出席いただきました。開会にあたり、西村会長ならびに先端科学技術推進機構長 棟安実治教授からご挨拶をいただき、議事に移りました。2021年度事業報告および決算・監査報告、2022年度役員・事業計画・予算の各議事について審議の結果、異議なく全て承認されました。

総会終了後は表彰式が行われ、当会表彰規程により、2021年度各賞受賞者に対し、西村会長から表彰状・副賞が授与されました。

また、2022年度第1回研究会として、産学連携賞を受賞された八田工業株式会社 徳山様にご講演いただき、盛会のうちに終えることができました。

2021年度 学の実化賞

【課題】

プロセスコストを極限まで下げた
高スループット三次元積層型IC向け貫通配線(TSV)形成技術

システム理工学部 機械工学科 教授 新宮原 正三

2022年度関西大学科学技術振興会
総会・表彰式・第1回研究会



2022年度関西大学科学技術振興会
総会・表彰式・第1回研究会



【課題】

材料内部の微小硬さ分布を3次元的に可視化する硬さ計測型
3次元内部構造顕微鏡システムの開発

システム理工学部 機械工学科 准教授 廣岡 大祐

「学の実化賞」受賞記念講演は、2022年7月9日(土)の第2回研究会にて開催を予定いたしております。ぜひ、ご予約いただきますよう、お願い申し上げます。

2021年度 産学連携賞

【課題】

アクティブスクリーンプラズマ(ASP)の利用方法

八田工業株式会社 隅谷 賢三、徳山 信吉
化学生命工学部 化学・物質工学科 教授 西本 明生



2022年 第1回研究会 産学連携賞受賞記念講演

2022年第1回研究会として、産学連携賞を受賞された八田工業株式会社 徳山信吉氏から、受賞課題「アクティブスクリーンプラズマ(ASP)の利用方法」についてご紹介をいただきました。堺市八田に本社を置く同社は、多種多様な金属熱処理・機械加工において新産業分野に向けての研究開発を重ねておられます。

今回の受賞では、ステンレス鋼を超極細パイプ化すると曲げ剛性が低下するという課題を、アクティブスクリーンプラズマ窒化および浸炭法により、鋼材表面に表面硬化層(S相)を形成させ、処理温度条件と硬度の関係を材料組織状態とともに詳細な研究を重ね、実用化へ大きく近づけたことが評価されました。本開発のキーテクノロジーであるアクティブスクリーンプラズマ窒化分野に蓄積された知見をもつ関西大学化学生命工学部 西本教授の参画なくしてはここまで進めなかったということ、主要なグローバル医療機器メーカーが欧米で寡占されている現状を打破するために、さらに開発を進めていくとの力強いコメントで発表は締めくくられました。

2021年度 研究奨励賞

2021年度の研究奨励賞は9件の課題が受賞となりました。表彰式にご参加の受賞者の皆様には、第1回研究会として研究課題をご紹介いただきました。どの研究も学会などで高く評価された研究だけあって、大変聞きごたえのある発表となりました。

課題: CHA/PHI 複合ゼオライトを用いた選択的 CO₂/N₂ 及び CO₂/CH₄ 分離

理工学研究科
環境都市工学専攻
樋口 雄斗



課題: 手術室環境における環境ノイズにロバストな音声認識コマンドの最適語長

理工学研究科
システム理工学専攻
矢島 拓人



課題: Basic Study on the Method of Improving the Frost Damage Resistance of Concrete by Coating Antifreeze Material

理工学研究科
環境都市工学専攻
謝 佳禾



課題: Preparation of Topological Gels by Penetrating Polymerization Using a Soluble "Molecular Net"

理工学研究科
化学生命工学専攻
中澤 祐登



課題: タンパク質認識部位を導入した刺激応答性ポリマーの設計と変性タンパク質認識挙動

理工学研究科
化学生命工学専攻
村山 果子



課題: 共創 ー未来へつなぐOhiー

理工学研究科
環境都市工学専攻
野瀬 匠
石井 宏直
宇高 裕介
古川 あかね
環境都市工学部
建築学科
河合 美楓
下村 悟
山下 大翔



課題: 構造変化によって分子結合能を制御できる動的分子認識ゲルの設計

理工学研究科 化学生命工学専攻 豊島 有人

課題: 接着とTRSを併用した鋼桁のCFRP板補強

理工学研究科 環境都市工学専攻 白石 祐一

課題: d4PDFを用いた将来の確率雨量の変化と下水道管きょ設計に与える影響
ー近畿地方を対象としてー

理工学研究科 環境都市工学専攻 戸田 敦仁

都合により欠席された研究奨励賞受賞者の方々です。

受賞者におかれましては、今後ますますのご活躍とご発展をお祈りいたします。

アンケートの回答 今年度も当研究会について、会員の要望を把握し今後の研究会運営に反映するため、アンケートを実施いたします。第1回となる今回は27件の回答をいただきました。研究会の内容について、皆様より「大変参考になった」12件「参考になった」15件の回答をいただきました。関心のある技術分野については「環境・エネルギー」「素材・材料」、次いで「ものづくり・加工」が多数ございました。知りたい情報については、「実用化が期待される研究成果」「研究者の研究内容・専門分野」との回答が多く見られました。その他「研究成果の発表・講演のウエイトが大きい方が良かった」「表彰式はもう少し簡素化すべき」などの意見がございました。これらの結果を、今後の研究会活動に反映するよう努めてまいりますので、ご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。